

適用規格					
定格	使用温度範囲	-35℃～ +85℃ (注1)	保存温度範囲	-10℃～ +60℃ (注3)	
	使用湿度範囲 \triangle	20% ～ 80% (注2)	保存湿度範囲 \triangle	40% ～ 70% (注3)	
	電圧	AC/DC 100V		適合コネクタ	DF19-*S-1C(**) DF19G-*S-1C(**)
	電流	AWG 30 : 0.9 A AWG 32 : 0.8 A		適合電線 \triangle	AWG30～32 被覆外径 : ϕ 0.54 ～ 0.58mm

性 能

	項目	試験方法	規格	QT	AT
構造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電気的性能	接触抵抗	100 mA(DC又は 1000 Hz)で測定する。	30 m Ω 以下	○	—
機械的性能	単体挿抜力	T=0.2 \pm 0.005mmのゲージにて規格値を満足すること。	差込力 3.0 N以下 引抜力 0.2 N以上	○	—
	繰り返し動作	30 回の抜き差しを行う。	①接触抵抗: 30 m Ω 以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性	周波数 10～55 Hz, 片振幅 0.75 mmで 3 方向 各 10サイクル試験する。	①1 μ s以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 軸両方向 各 3 回試験する。	①1 μ s以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	引張り強度	芯線のみを圧着した状態で測定する。	AWG30 : 8N以上 AWG32 : 5N以上	○	—
環境的性能	定常状態の耐湿性	温度 +40 \pm 2℃, 湿度 90～95 %中に 96 時間放置する。 (室温に1～2時間放置後測定)	①接触抵抗: 30 m Ω 以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	温度サイクル	温度 -55 \rightarrow 85℃ 時間 30 \rightarrow 30分 を 5 サイクル 試験する。 槽の移し変えは時間は2～3分 (室温に1～2時間放置後測定)	①接触抵抗: 30 m Ω 以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水、48 時間放置する。 \triangle	はなはだしい腐食がないこと。	○	—
	二酸化硫黄	濃度 10 ppm、96 時間放置する。 \triangle (試験規格 : JEIDA-39)	はなはだしい腐食がないこと。	○	—

備考

(注1) 通電時の温度上昇を含む。
 (注2) 結露のないこと。
 (注3) 基板搭載前の未使用品に対する長期保存状態に適用。
 基板搭載後、輸送時の一時保管は使用温湿度範囲を適用。

	\triangle の数	訂正記事	設計	検図	年月日	
\triangle	5	DIS-H-00004853	SN. MIWA	SZ. ONO	20190514	
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(対応規格JIS C 5402)を適用している。				承認	KJ. KATAYOSE	20050105
				検図	TY. OMA	20050105
				担当	SZ. ONO	20050105
				製図	SZ. ONO	20050105

注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目	図番	SLC4-164752-00		
HRS	製品規格表	製品名	DF19A-3032SCFA	
	ヒロセ電機株式会社	製品コード	CL685-0046-0-00	\triangle 1/1